

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和7年12月3日実施)

図書名等	聴き取り内容
1 DAITO COMICS BLシリーズ バリタチNo.1に負けた俺がネコデビューするまで 令和7年11月2日発行	<p>性器の修整は問題ないレベル。人格否定なし。残虐性なし。刑罰抵触問題なし。絵がきれい。上手。ストーリがあまりにもありきたり。作品性は低い。BL全てに言えることだが、現実離れがひどい。指定該当だとしても表現の自由を奪うとは思えない。8条指定における性的感情を刺激する度合いもきついとは言えないが、作品性も低く、販売を制限されても特に問題とは思えない。この作者には、もっとしっかりしたストーリーの漫画を描いて欲しい。指定該当やむなし。</p> <p>性的行為が露骨に描写され卑わいである。人格否定や消しはひどくないが、ほとんどポルノ。18禁扱いすべき内容。指定該当やむなし。</p> <p>暴力や薬はないものの、全編を通して性交シーンが多い。性器は消えている。最後の方で、恋愛的なページもあるが、ストーリーの中心は性交。指定該当やむなし。</p> <p>冒頭の開始部分から全編にわたって、消しこみはあるものの性器の形がハッキリと分かる性行為描写が多数描かれているため、指定該当やむなし。</p> <p>「全編大部分」と言わざるを得ない。性交描写が多く、擬音、体液描写も多い。器具の使用もある。コメディタッチの作品であり、強制、人格否定的な描写はないが、やはり量的な部分で、指定該当やむなし。</p> <p>青少年への影響という文脈からは少し外れるが、「ネコ転向」（それを「屈辱的」と捉えている描写も）ということを、つきつめて考えると、LGBTへの配慮という意味でも少し気になる。</p> <p>ゲイビデオの演者が主人公のため、物語上、性描写が存在するのは自然であり、描き方次第では許容されることもあると思う。本作は分量も多く、性器に白抜きにしているもののそこから体液、精液があふれ出る描写もあり、卑わい感はぬぐい切れない。なお、第4話に身体拘束はあるが、文脈上、撮影演出の一環であると青少年も理解できると考えられるので、人格否定の要素はないと思う。指定該当やむなし。</p> <p>とても明るく楽しい話。読みやすく面白い。BL巖流島みたいな勝負設定プロットは暗さがない。そこで卑わい性という話になるが、読んで卑わいと感じるかは、読み手側のセンサーの話だと思う。18才未満の人がこれを読んでどう思うかというと、おそらくは全編を通して描かれる性行為描写など、刺激的すぎるのではないか。指定該当やむなし。</p> <p>性描写多い。これが問題。修整は丁寧だが形がわかる。局部を強調しているところも多い。同意なしの性交はない。コミカルで卑わい感少ないが。指定該当やむなし。</p> <p>BLコミック。設定が「タチ同士」だし、お互いが性行為で満足させたら勝利という内容なので、性行為シーンは多くなるし、局部アップも頻繁になるのは必然。男性器は全て白ヌキで対応しているが、形状が分かる部分もある。お尻の穴は消しがないのも気になった。文頭から、設定を把握した時から不安だったが、全てを鑑みて青年レベルを超えていると判断し、指定該当やむなし。</p> <p>ストーリーは明るくて、人格否定のような場面でもそのように感じさせない表現だったように思う。消しについても意識はされているように感じたが、性描写シーンがあまりに多く、その意味で青少年に悪影響があるように感じた。微妙な判断ではあるが、指定該当。</p> <p>全体的に修整は施しているが、全体的に少しハードのような感じがする。擬音やSEXシーンが多く、おもちゃなどの小道具も使ってところや、肛門などのせめているシーンもあり、全体的に、青少年には問題がないとは言い切れないと思う。よって、指定該当にあたると思う。</p> <p>修整はされているものの、性描写が多く、指定該当やむなし。</p> <p>お互いに裸体の描写が筋肉質で、性交シーンはリアリティがあり、擬音も多く、迫力を感じる。この描写が気になるところではあるが、挿入シーンは直接的な要素は少ないとと思う。性器描写については許容範囲かと思われる。判断としては悩むが、指定非該当。</p>